



合唱部定期演奏会

2日(土)は、合唱部の定期演奏会でした。毎年合唱部の最後のステージとして位置付けられていて、来賓の方々をはじめ、たくさんの観衆も体育館に集まり、私も楽しみな演奏会となっています。そして、今年度も合唱ばかりで



はなく、ミュージカルも披露されました。ミュージカルの演目は「白雪姫」で、子供たちもステージ上を所せましと動き回り、演じる声や間、表情、身振り、手振りなどから観客を惹きつけました。ミュージカルからは、子供たちの持つ豊かな感情と個性を感じることができました。また、当日は帯山中学校合唱部も参加してくれて、「群青」「未来へ」を歌い中学生のレベルの高い表現力を聴かせてくれました。帯山小・帯西小、そして帯山中と、中学校区で合唱に取り組む下地と、歌による強い繋がりを感ずることができました。帯西合唱部が歌った曲は、「かっぱ」(熊本県合唱コンクール)、「緑の虎」(NHK 全国学校音楽コンクール)、「私が呼吸する時」(熊日学生音楽コンクール)と、これまでの合唱部が努力してきた楽曲で、さまざまな思いを感じることができました。そして、テレビでも放映された「しあわせ運べるように」(能登半島地震で被災された方々に送った歌)では、今でも地震で被災されている方々に思いを込めて歌いました。テレビのインタビューの中で(下記 URL)、部長の隅田さんは「私たちが地震を体験したときにたくさん支援していただいたので、少しでも力になればと思っています。」と話しています。この歌詞が教えてくれるように「届けたいわたしたちの歌 しあわせ運べるように」という思いがしっかりと伝わり、私も幸せの意味を実感することができました。

定期演奏会に参加された、会場の方々も、きっと心が幸せな気持ちで満たされて帰路につかれたたことでしょう。合唱部の皆さん、そして合唱部を指導してくれた先生方、さらにそれを支えてくださった後援会の皆さん、感動をありがとうございました。

<https://youtu.be/TtA4cdyksX4>

※タップすると視聴できますが、別途データ通信料がかかります。

5年生へのバトンタッチ

今日から3月となり、いよいよ本年度最後の月を迎えています。2月最終日の昼休み(29日)に体育館に行くと、5年生が卒業式用のひな壇を設置してくれました。ひな壇は、毎年この時期に5年生が6年生のために設置しています。汗を流している5年生に尋ねると「6年生には最高の思い出をもって卒業して欲しいです。そのために自分たちにできることをしたいです。」と次年度のリーダーとしての心意気を感じることができました。いよいよリーダーのバトンタッチが始まります。

